

2019年4月3日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL19-13

日本イーライリリー 2018年度売上高は2,630億円を達成 —堅調な成長により対前年比売上1.1%増、数量7.9%増—

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン)は、2018年度売上高が、対前年比売上1.1%増、数量7.9%増の2,630億円¹を達成したと発表しました。糖尿病、がん、自己免疫疾患領域における主力製品の伸長と中枢神経領域等の基盤となる製品の安定した売上により、堅調な成長を遂げました。

成長を牽引した主力製品として、がん領域の「サイラムザ[®]」は0.99%増*と成長を持続させました。糖尿病領域では、週1回の持続性GLP-1受容体作動薬「トルリシティ[®]」²が52.2%増*、SGLT-2阻害薬「ジャディアンス[®]」³は55.2%増*と成長し、昨年に引き続き、糖尿病領域のマーケットシェアでトップ*^{4,5}となり、マーケットリーダーとしての存在を強めました。さらに、2016年より参入している自己免疫疾患領域においても、乾癬治療薬の生物製剤「トルツ[®]」⁴は174.78%増*と伸長すると共に、2017年に上市した関節リウマチ治療薬「オルミエント[®]」も医療現場に着実に浸透しています。

他に、中枢神経領域と疼痛領域での適応を持つ「サインバルタ[®]」⁵は560.53億円*、骨粗しょう症の「フォルテオ[®]」が492.53億円*、がん領域の「アリムタ[®]」が332.45億円*、注意欠陥/多動性障害(AD/HD)治療薬の「ストラテラ[®]」が291.57億円*となり、成長の基盤を支えました。

<2018年 承認・適応追加、上市>

- 糖尿病治療薬・超速効型インスリン製剤「ヒューマログ[®]注ミリオペン[®]HD」新発売(7月2日)
- 乾癬治療薬「トルツ[®]皮下注80mgシリンジ、同皮下注80mgオートインジェクター」用法・用量追加承認取得(8月21日)
- 2型糖尿病治療用配合剤「トラディアンス[®]配合錠 AP/BP」⁶製造販売承認取得(9月21日)、新発売(11月20日)
- 抗悪性腫瘍剤「ベージニオ[®]錠 50mg,100mg,150mg」製造販売承認取得(9月21日)、新発売(11月30日)

2018年度の業績について、日本イーライリリー代表取締役社長のパトリック・ジョンソンは次のように述べています。「糖尿病、がん、疼痛、自己免疫疾患の注力領域で、近年発売した主力製品の成長と基盤となる製品の安定した売上により、2018年4月の薬価改定の影響を受けたものの、対前年比売上1.1%増、数量7.9%増と業績を伸長させ、業界内の順位も6位*に上がりました。昨年は、新社屋の移転を機に、兵庫県や神戸市をはじめ様々なステークホルダーとの対話を深め、イノベーションを推進する政策や環境整備に向けたプラットフォームを構築するなど、日本市場への強いコミットメントを示した年となりました。また、『患者さん中心』の志向を軸にテクノロジーの活用を推進し、患者さんの治療サポートをするサービスでは利用者からの高い評価を得て対象領域を拡大するほか、医療従事者への情報提供の質と量の向上にも取り組んでいます。研究開発では、グローバル全体で『2014年から2023年までの10年間で20の革新的新薬の承認』という目標に向けて開発を加速

¹ 決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字

² 大日本住友製薬株式会社との販売提携

³ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁴ 鳥居薬品株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁵ 塩野義製薬株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

* 薬価ベース、Copyright © 2019 IQVIA. JPM 2018年1月-12月 MATをもとに作成 無断転載禁止

** 日本イーライリリー株式会社が発売中の糖尿病治療薬製品カテゴリー全体の市場に占める、日本イーライリリー株式会社が発売中の糖尿病治療薬売上合計額の割合

させる中、日本でも、世界同時開発を80%以上という高い比率で継続し、革新的な医薬品をいち早く、そしてより多くの日本の患者さんにお届けできるよう努めていきます。」

<ご参考>

2018年度 製品別売上高（日本）(薬価ベース、IQVIA JPM (2018年12月MAT)をもとに作成)

製品名	領域	2018年売上高	対前年比(%)
サインバルタ®*	中枢神経系	560.53 億円	3.71%
フォルテオ®	骨粗しょう症	492.53 億円	0.00%
サイラムザ®	がん	443.30 億円	0.99%
トラゼンタ®	糖尿病	387.66 億円	-4.50%
アリムタ®	がん	332.45 億円	-2.90%
ストラテラ®	中枢神経系	291.57 億円	8.15%
トルリシテイ®	糖尿病	213.35 億円	52.20%
ジプレキサ®	中枢神経系	178.06 億円	-36.91%
ジャディアンス®	糖尿病	170.77 億円	55.23%
ザルティア®	泌尿器系	133.86 億円	16.01%
ヒューマログ®ヒューマリン®	糖尿病	130.33 億円	-18.08%
ヒューマトローブ®	内分泌系	80.43 億円	-11.81%
エビスタ®	骨粗しょう症	69.32 億円	-28.87%
インスリングルルギンBS注「リリー」	糖尿病	41.39 億円	4.76%
トルツ®	乾癬	35.63 億円	174.78%
オルミエント®	関節リウマチ	23.07 億円	1726.38%
ジェムザール®	がん	20.78 億円	-28.28%
トラディアンス®	糖尿病	11.22 億円	N/A
ベージニオ®	がん	2.84 億円	N/A

本表の合計は決算ベースの売上の数字と一致しません。

* 日本イーライリリー株式会社および塩野義製薬株式会社の売上を合算したものと

Copyright © 2019 IQVIA. 無断転載禁止

後期開発品一覧（日本）2019年3月31日現在

治験薬記号（一般名）および剤型	予定される効能又は効果 対象疾患名および症状名	開発ステージ （国内）
LY3012211（一般名：ネシツムマブ）静注製剤	非小細胞肺癌	申請中
LY3009806（一般名：ラムシルマブ[遺伝子組換え]） 静注製剤	肝細胞癌	申請中
LY2439821（一般名：イクセキズマブ）皮下注製剤	強直性脊椎炎	申請中
LY275585（インスリンリスプロ(遺伝子組換え)）新 規の超速効型インスリンリスプロ	インスリン療法が適応となる糖尿病	申請中
LY3012207（一般名：olaratumab）静注製剤	軟部肉腫	第Ⅲ相
LY2951742（一般名：galcanezumab）皮下注製剤	片頭痛発作の予防	第Ⅲ相
LY900018（一般名：グルカゴン）点鼻粉末剤	低血糖	申請中
LY2062430（一般名：ソラネズマブ）静注製剤	プレクリニカル期アルツハイマー病	第Ⅲ相
LY450190（一般名：タダラフィル）経口投与製剤	肺動脈高血圧症(小児用量)	第Ⅲ相
LY2439821（一般名：イクセキズマブ）皮下注製剤	X線所見のみられない体軸性脊椎 関節炎	第Ⅲ相
LY3074828（一般名：mirikizumab）皮下注製剤	尋常性乾癬	第Ⅲ相
LY3074828（一般名：mirikizumab）静注製剤、皮下 注製剤	潰瘍性大腸炎	第Ⅲ相
LY3009104（一般名：バリシチニブ）経口投与製剤	アトピー性皮膚炎	第Ⅲ相
LY3009104（一般名：バリシチニブ）経口投与製剤	全身性エリテマトーデス	第Ⅲ相
LY3009104（一般名：バリシチニブ）経口投与製剤	若年性特発性関節炎	第Ⅲ相

LY3009806 (一般名: ラムシルマブ[遺伝子組換え]) 静注製剤	非小細胞肺癌	第Ⅲ相
LY2835219 (一般名: アベマシクリブ) 経口投与製 剤	乳癌における術後補助療法	第Ⅲ相
LY32981768 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	2型糖尿病	第Ⅲ相
LY3303560 (一般名: 未定) 静注製剤	早期症候性アルツハイマー病	第Ⅱ相
LY3074828 (一般名: mirikizumab) 静注製剤, 皮下 注製剤	クローン病	第Ⅱ相
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	円形脱毛症	第Ⅱ相
LY3375880 (一般名: 未定) 皮下注製剤	アトピー性皮膚炎	第Ⅱ相

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.lilly.com および <http://newsroom.lilly.com/social-channels>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>